



三重県経営品質賞

組織プロフィール認証

申請ガイドブック

2018年7月

三重県経営品質協議会

■申請ガイドブック作成にあたって

2018年度版三重県経営品質賞 組織プロフィール認証の申請ガイドブックを作成致しました。本書は、三重県経営品質賞 組織プロフィール認証申請にあたっての基本的な情報と審査の方法について記述しています。

三重県経営品質賞 組織プロフィール認証への申請にあたっては、本書に基づき申請頂きますよう、お願い申し上げます。

三重県経営品質協議会

申請書の記述にあたっては、「2018年度版日本経営品質賞アセスメント基準書」（日本経営品質賞委員会発行）も必ずご参照ください。

（注）このガイドブックは、「2018年度版日本経営品質賞申請ガイドブック」を参考に作成しています。

目 次

三重県経営品質賞 組織プロフィール認証	3
2018年度 三重県経営品質賞 組織プロフィール認証の審査とスケジュール	5
申請について	9
審査について	11
「申請書」の書式	13
「申請応募書」の記述要領	15
(書式1) 2018年度 三重県経営品質賞 組織プロフィール認証「申請応募書」	16
(書式2)「組織プロフィール認証 申請書フォーマット」	17
「組織プロフィール認証 評価チェックシート」	19

■三重県経営品質賞 組織プロフィール認証

1. はじめに

経営品質向上プログラムが経営革新のツールとして効果的であることは、多くの企業・組織のみなさまにご理解して頂いておりますが、一方で、もっと取り組みやすいツールはないのかとの声も頂いております。そこで三重県経営品質協議会では、このようなご要望にお応えするため、2015年度より「組織プロフィール」の記述だけで応募できる「組織プロフィール認証」を新設致しました。この新しい制度を活用して、経営革新のきっかけづくりに取り組んで頂ければ幸いです。

2. 組織プロフィールとは

組織プロフィールの記述は、自組織の経営がどのような環境に置かれているのかを正しく理解することを目的としています。経営の現状を深く認識するためにまとめるものです。つまり、自組織内での現状認識の統一を図ることが最大の狙いです。

日本経営品質賞アセスメント基準書によれば、組織プロフィールは以下の4つの要素で構成されています。

1. 理想的な姿
2. 現状認識と環境変化
3. 変革のための戦略課題
4. 組織情報

理想的な姿では、経営者が組織の人たち全員とともに目指したいと思っている組織の状態を、経営の具体的な目標値も含めて記述することが求められています。遠い未来の抽象的な“理想”よりも、現実的な将来に“こうなりたい”という近未来の理想的な状態（目標）を記述します。達成時期や目標値も必ず記述して下さい。

そこには顧客や社会など外部の関係者にとって魅力的な側面（外的動機）と、社員など内部の関係者にとって魅力的な側面（内的動機）があります。また、なぜそのような状態を目指そうと思ったのか、その根拠や理由も説明してください。

次に現状認識と環境変化では、さらに以下の4つの要素を記述することが求められています。

- (1) 商品・サービス
- (2) 顧客・市場
- (3) 競争関係
- (4) 経営資源

商品・サービスでは、自組織の顧客・市場に提供している商品・サービスの価値や利便性がどのようなもので、その商品・サービスを企画して顧客・市場に供給・販売するための主な方法を記述することが求められています。併せて、提供している価値や提供する方法の今後の変化予測、つまり将来において提供価値自体を変更する可能性があるかどうかと、それに伴って認識している課題を記述して下さい。

また、顧客・市場ではターゲットとしている顧客・市場の特徴（規模、成長性、構造、特徴的な要因）と、顧客・市場が何を求めているのかを記述します。さらに、顧客・市場からの要求事項の違いにより、顧客・市場を区分している場合は、その区分ごとの要求事項の違いと、提供している価値の違いについても記述することが求められています。併せて、顧客・市場の今後の変化予測と、それに伴って認識している課題を記述して下さい。

次に、競争関係では自組織の競合相手が誰なのかを、競合相手の社数と彼らの特徴を記述する必要があります。競合相手の戦略や価値提供プロセスをどれだけ理解しているかが重要となります。また、自組織を含めた市場でのシェアや位置づけが分かれば、それも記述して下さい。併せて、競争環境の今後の変化予測と、それに伴って認識している課題を記述して下さい。

経営資源では、顧客価値を高め自組織の競争力の源泉となっている主要な知的資産や主要施設、設備、装置を選択し、それらがどのように競争力に結びついているかを記述する必要があります。また、顧客価値を高め競争力の源泉となっている財務活動、具体的には設備投資などに必要な資金調達、運転資金調達、海外取引がある場合の為替対策など、事業の特性に応じた財務活動を記述して下さい。併せて、顧客価値を高め自組織の競争力の源泉となっている主たるビジネスパートナーの種類やその区分、それらの社数とそれぞれの特徴や彼らに求める要求や期待、及び彼らから求められている要求や期待を記述して下さい。最後にこれら経営資源の今後の変化予測と、それに伴って認識している課題を記述して下さい。

変革のための戦略課題では、組織が目指す「理想的な姿」を実現する上での現在および将来に向けた「戦略課題」を記述することが求められています。組織が目指す「理想的な姿」を実現するための道筋を「戦略」といいますが、「戦略課題」とは、その戦略を実行するにあたっての自組織の重要な課題と定義します。また、これらの「戦略課題」では、主たる経営目標と達成時期も明示する必要があります。

最後に、組織情報とは一般的な企業情報で、具体的には主要事業所・拠点の所在地、部門ごとの従業員数、事業ごとの財務データ、売上比率を記述して下さい。

■2018年度 三重県経営品質賞 組織プロフィール認証の審査とスケジュール

1. 審査基準

2018年度版日本経営品質賞アセスメント基準に基づいて審査を行います。

2. 審査方法

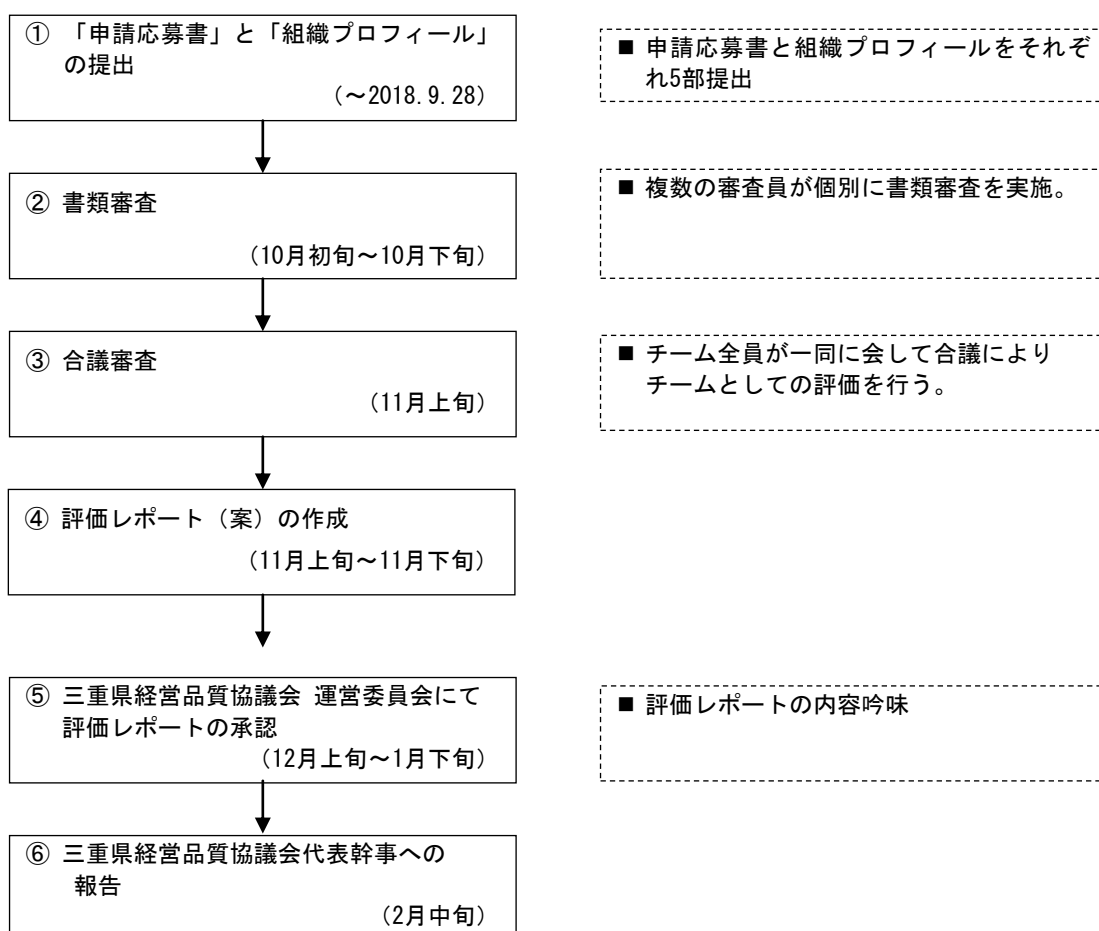
三重県経営品質賞 組織プロフィール認証への申請は、9月28日（金）までに、「申請応募書」と自組織の「組織プロフィール」を提出してください。

審査員は10月から11月に掛けて書類審査及び合議審査を行います。11月上旬～11月下旬の間に、さらなる革新を進めるための評価レポート（案）を作成します。三重県経営品質賞のような「現地審査」は行わず、組織プロフィールの書類審査のみで審査を完了いたします。

最終的に、三重県経営品質協議会 運営委員会が表彰に値すると判断した組織を認証組織として三重県経営品質協議会代表幹事へ報告し、三重県経営品質協議会代表幹事が「三重県経営品質賞 組織プロフィール認証」として認証・表彰します。全申請組織には、「評価点」、「強み」と「改善に向けての提言」から構成される「評価レポート」を送付します。

(1) 審査のフロー

審査全体のフローは以下のとおりです。



(2) 審査のプロセス

三重県経営品質賞 組織プロフィール認証の審査は、①申請応募書と組織プロフィールの提出、②書類審査、③合議審査、④評価レポート（案）の作成、⑤三重県経営品質協議会運営委員会にて評価レポートの承認、⑥三重県経営品質協議会 代表幹事への報告、の各プロセスがあります。

①「申請応募書」と「組織プロフィール」の提出（～2018年9月28日）

三重県経営品質賞 組織プロフィール認証にチャレンジするには、「申請応募書」（16ページ参照、書式1）と「申請書フォーマット」（17ページ参照、書式2）を使った「組織プロフィール」を提出してください。「申請応募書」および「組織プロフィール」は、それぞれ5部を三重県経営品質協議会事務局宛に、9月28日（金）17:00までにお送りください。併せて、提出した資料と同じ内容の電子ファイル（PDF版）を三重県経営品質協議会事務局あてE-mailで送付してください。

② 書類審査（10月初旬～10月下旬）

三重県経営品質協議会 運営委員会が認めた者（以下「審査員」という。）2名からなる審査員チームが「組織プロフィール」を、約1ヶ月をかけて個別に審査します。なお、審査員は三重県経営品質協議会運営委員長あてに「組織プロフィール認証審査 倫理規定・機密原則 遵守誓約書」を提出し、審査を担当した申請組織名や審査を通じて知り得た機密情報について、指定された審査員チームメンバー以外に、審査期間中およびそれ以降も他人に漏らさないことを誓約します。

③ 合議審査（11月上旬～11月下旬）

- ・合議審査では審査員チームメンバーが個別に審査した結果を持ち寄り、チーム全員の合議によりチームとしての評価を行います。
- ・審査員チームは合議審査終了後に、これまでの情報をもとに、評価レポート（案）を作成します。

④ 評価レポート（案）の作成（11月上旬～11月下旬）

成熟度という観点から20の評価項目（19ページ参照）ごとに、レベルという形で評価し、このレベルをさらに高めるために、「強み」と「改善に向けての提言」という2つの視点から作成します。

⑤ 三重県経営品質協議会 運営委員会にて評価レポートの承認（12月上旬～1月下旬）

- ・審査員チームは、三重県経営品質協議会 運営委員会にて申請組織に提出する「評価レポート（案）」の内容を報告します。
- ・三重県経営品質協議会 運営委員会は、審査員チームより報告された審査結果を踏まえ

て認証組織の承認を行います。

- ・三重県経営品質協議会 運営委員会で承認審議の後、審査員チームにて最終的な「評価レポート」を作成します。

⑥ 三重県経営品質協議会 代表幹事への報告（2月中旬）

三重県経営品質協議会 運営委員会は、三重県経営品質協議会 代表幹事へ認証組織の報告を行い、最終的に代表幹事名で認証組織を公表します。

（3）「評価レポート」の送付（3月上旬）

全ての申請組織には、審査結果として審査員チームが作成する「評価レポート」をお送りします。

「評価レポート」は、組織の目指す方向に向かうために、これまで取り組んできた改善・革新活動が、現在どのような状態にあるのかを限られた情報に基づき、成熟度という観点から20の評価項目（19ページ参照）ごとにレベルという形で評価し、このレベルをさらに高めるために「強み」と「改善に向けての提言」という2つの視点を提供するものです。

「評価レポート」は、申請組織に対しての詳細調査、顧客や取引組織への綿密な調査により作成されたものではなく、いわゆるコンサルティング活動の結果とは異なります。今後さらに行う変革に向けた活動に対して、知見も経験も異なる審査員チームからの指摘を冷静に受け止め、これまでの活動を振り返り、その話し合いの中から新たな改善・革新への活動が加速される、ということを期待しています。

「評価レポート」は、①審査総括、②評点合計、③評価項目別評点、④評価項目別コメントから構成されます。

① 審査総括

審査総括は、審査の結果から得られた申請組織における経営革新の現在の状態を要約したものです。組織の目指す価値実現に向けた経営革新に取り組んできた、これまでの活動を振り返り、さらに組織の経営品質を高めるためにどうすればよいのかを、「強み」の領域と、「改善に向けての提言」に分けて記述します。

② 評点合計

審査総括の中に、組織全体の評点合計を表示します。

③ 項目別評価

20の評価項目それぞれに評価点を表示します。

④ 評価項目別コメント

評価項目ごとに、今後の改善・革新活動を考えるうえで有益と思われるコメントとして「強み」と「改善に向けての提言」を示しています。

(3) 認証式 (3月中旬)

表彰式は2018年度の認証組織に対して三重県経営品質賞表彰式の中で、三重県経営品質協議会 代表幹事から「組織プロフィール認証」の認定証を授与します。

3. 組織構成

(1) 三重県経営品質協議会 運営委員会

三重県経営品質協議会 運営委員会は当審査における諮問機関です。本委員会は三重県経営品質協議会会員組織代表から構成され、審査員チームによる申請組織の審査結果および「評価レポート」の妥当性、さらには認証組織の承認、審査プロセスなど、審査に関するあらゆる面を審議、検討、決定します。三重県経営品質協議会 運営委員の委員任期は1年を原則として改選します。

(2) 三重県経営品質協議会 事務局

三重県経営品質賞委員会事務局は、組織プロフィール認証に関わる審査事務を行う組織です。

■申請について

2018年度 三重県経営品質賞 組織プロフィール認証への申請については以下のとおりです。

1. 資格

三重県内に所在する組織であれば、外国企業の日本法人や関連会社、非営利法人を含め、どなたでも申請することができます。

例えば、株式の公開・非公開を問わず、国内あるいは海外企業、合弁会社、株式会社、有限会社、合資会社、合名会社、非営利組織でも申請することができます。

但し、下記の要件を満たしていることが条件となります。

1. 三重県が賦課徴収する税を滞納していないこと。
2. 組織の代表者・役員等に破産者及び禁固以上の刑に処せられている者がいないこと。
3. 組織の代表者・役員等が暴力団員もしくはこれらの者と関係を有していないこと。
4. 組織が暴力団と関係し、又はその利益となる活動を行っていないこと。
5. その他、認証するにふさわしくない反社会的行為などを行っていないこと。

2. 資格制限

三重県経営品質賞 組織プロフィール認証では、どんな組織からでも申請を受付けますが、確実な「評価レポート」を提供したいことから、以下の資格制限を設けています。

(1) 設立3年未満の企業あるいは企業内組織（子会社を含む）

応募時点で設立3年未満の企業あるいは企業内組織（子会社を含む）は申請することはできません。ただし、企業内組織において、名称の変更や事業領域の拡大に伴う統廃合の結果として設立3年未満であっても、これまで継続して3年以上行ってきた事業に基づいて記述できる場合には、この限りではありません。

* 企業内組織

- ・ 企業内組織とは企業内事業単位や事業部等の組織を言います。企業内組織も申請資格があります。
- ・ 企業内組織の場合には、利益責任を持っている部門の役割を含めて申請することが資格条件になります。以下に該当する例を書きますが、こうした場合でも、顧客・市場のニーズ分析に始まって、製品・市場戦略の策定や売上げ・利益といった財務目標の設定・結果の評価を、どのような仕組みで行っているかを包含してください。

例) 本社を県外に持つ企業で、三重県内の製造工場（部門）での申請

例) 企業内組織の一部門として製品を製造のみを担当する工場での申請

例) 地域担当の支社・支店での申請

例) 申請組織の主要な製品・サービスの一部あるいは全部の生産・提供を外部企業に依存（アウトソーシングもしくはファブレス）している企業内組織での申請

(2) ビジネス・サポート専門事業部

販売、マーケティング、流通、顧客サービス、財務、会計、人材開発、健康・安全、購買、法律サービス、調査、研究開発などを専門とする企業内事業単位や事業部は、資格を有しません。ただし、会社としてのサービスが上記である場合には資格があります（子会社を含む）。

(3) 多重申請

企業内組織（子会社含む）同士、あるいは企業内組織とその親会社自身が、両方そろって同年度に応募することはできません。

(4) 複数回申請

過去に組織プロフィール認証に申請した組織は応募資格がありません。

(5) 三重県経営品質賞への申請組織

過去に三重県経営品質賞に申請した組織は応募資格がありません。

※上記資格、資格制限について不明瞭な場合には、三重県経営品質協議会事務局にて事例ごとに判断いたします。

3. 提出書類と費用

申請するにあたり、以下の書類提出と費用の準備をお願いします。

(1) 提出書類

「申請応募書」と「組織プロフィール」

9月28日（金）までに、「申請応募書」と「組織プロフィール」（A-4用紙10ページ以内）を三重県経営品質協議会事務局宛に、5部提出して下さい。併せて、提出した資料と同じ内容の電子ファイル（PDF版）を三重県経営品質協議会事務局あてE-mailで送付して下さい。

尚、提出された「組織プロフィール」は審査終了後、事務局で1部保存する以外は全てこちらで破棄させていただきます。

(2) 申請費用

書類審査および合議審査費用

1組織 80,000円（税込み）

審査、評価レポート作成まで全てを含みます。

【振込先】

百五銀行 県庁支店 普通 2 2 3 3 7 3

ミエケンケイエイヒンシツキョウギカイ
三重県経営品質協議会

恐れ入りますが、振込手数料は、貴組織にてご負担頂きます様、お願い申し上げます。

■審査について

審査は、三重県経営品質協議会 運営委員会が認めた者（審査員）複数名からなる審査員チームが行います。

1. 審査員の役割

三重県経営品質賞 組織プロフィール認証の審査員は、経営品質向上の考え方を十分に理解し、倫理規定と機密原則を遵守し、提出された申請書（組織プロフィール）から、顧客本位に基づく経営革新を実現するための、さらなる改善・革新活動を促す提案をすることが役割です。

(1) 審査員のミッションステートメント

- ① 私達は、対象組織からその卓越性、独自能力のシステムを洞察し、明確化する。
- ② 私達は、本質を思考する。表層的、断片的、憶測的思考による審査は行わず、常に対象組織の本質、構造、全体システムを洞察する。
- ③ 私達は、良好な相互作用を目指し、気づきを深める。そして相互に学び、互いの尊厳を守って価値ある審査結果を目指す。
- ④ 私達は、対象組織の価値、意図、目的に従って審査をする。自らの価値観や思いこみで判断することはしない。

(2) 審査員の倫理規定と機密原則

三重県経営品質賞 組織プロフィール認証の審査員は、以下の倫理規定を遵守します。以下の倫理規定に反する行為を行った場合には、三重県経営品質協議会および日本経営品質賞委員会主催の活動に参加が認められなくなります。

- 申請組織の審査過程において、審査の目的を逸脱して、日頃より個人的に抱いている疑問、関心事は詮索せず、またそのように見られるような言動は一切行わない。
- 審査を担当した申請組織を通じて知り得た機密情報については、正当な理由なく他人に漏らすことは一切行わない。
- 申請組織が提出する「組織プロフィール」をコピーしたり、回覧や保管することはしない。
- 審査期間中およびそれ以降であっても、申請組織に対して個人的なフィードバックを行わない。
- 審査を通じて得た機密情報を提供する引き替えに、申請組織に関心を持つ企業へのコンサルティング、研修を実施しない。
- 申請の準備段階で申請組織の相談に応じたり、申請組織と特別な関係がある場合には、その組織の審査に影響を与えるような言動は、一切行わない。
- 現在勤務している企業、事業部門等の主な競争相手の審査を担当しない。
- 定められた審査期間中、特に合議において、審査の日程を最優先に活動する。
- 以上の原則を遵守し、三重県産業界の経営全体のクオリティ改善と向上を促進する姿勢で

審査する。

(3) 審査に係る作業工数

各申請組織に対して最も価値ある有効な審査を行うために、合意されたスケジュールを遵守することを条件に、おおむね以下の時間を要して審査を行います。

第一段階の個別（書類）審査では、10月初旬～10月下旬の間の約7～10時間を要します。

第二段階の合議審査では、審査員チームが一同に会する半日程度の時間を要します。

第三段階の評価レポートの作成では、チームとして10～20時間の時間を要して作成します。

2. 合議審査

合議審査は、三重県経営品質賞の第二段階の審査です。審査員一人ひとりが行ってきた個別審査の結果を持ち寄り、話し合いを中心とした合議のプロセスから、最終的に審査員チームとしての結果を導き出します。

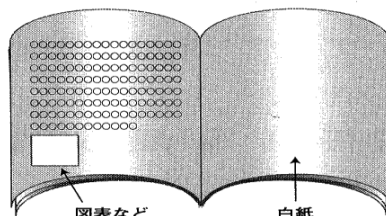
3. フィードバックの仕組み

三重県経営品質賞 組織プロフィール認証への申請組織には、フィードバックとして「評価レポート」が送付されます。このフィードバックの仕組みは、三重県経営品質賞 組織プロフィール認証のプロセス全体で最も重要な事項です。それはこの「評価レポート」が経営品質向上への継続的改善に取り組む前提への指標になるからです。「評価レポート」は、審査の結果として、申請組織に対して「強み」と「改善に向けての提言」についての評価を提出します。

■「申請書」の書式

1. 提出資料の形式

- ・ A4版（縦使い・横書き）でお願いします。
- ・ 片面（申請書を開いて見開きの状態で向かって左側）のページにのみお願いします。
向かって右側のページは審査員が書き込みなどを行う余白（スペース）として白紙にしてください。



- ・ 書類審査の効率化を図るために、電子データファイル形式も提出してください。 文字選択可能なPDF形式、もしくはMicrosoft Word形式でお願いします。

※申請書を含む提出資料は、審査員や三重県経営品質協議会運営委員会に提供します。審査終了後は、三重県経営品質協議会で1部保存する以外、全てこちらで廃棄処分いたします。

2. 申請書（組織プロフィール）のページ数と構成

総ページ数は10ページとします。ただし、以下の資料はページ数として含める必要はありませんが、添付をお願いします。

* 表紙／「申請応募書」／「申請書」／目次（内容一覧表）／用語集（専門用語や略称・略語について解説したもの）／仕切りページ／組織図（「申請書」に記載の企業内の部門間の関係を審査員が理解できるような組織図）

以下の構成で1つにまとめてください。

1. 表紙
2. 「2018 年度三重県経営品質賞 組織プロフィール認証 申請応募書【書式1】
3. 目次
4. 用語集（専門用語や略称・略語の解説）
5. 組織図（企業内部門間の関係を審査員が理解できるようなもの）
6. 組織プロフィール（10 ページ以内）

※表紙には「2018 年度 三重県経営品質賞 組織プロフィール認証 申請書」のタイトルおよび、三重県経営協議会事務局よりお伝えする申請組織コード番号（例：M14P〇）のみ表示してください。

※組織プロフィールには、通しのページ番号を打ってください。

※1 ページは上下左右に1.5 cm以上の余白を空け、総行数は45行程度を目安とします。

※本文および図表イラスト内の文字の大きさは11 ポイント、MS明朝体を標準とします。

※図表イラストの周囲は、1 cm程度あけてください。

※図表イラストには、図表番号とタイトルを付けてください。（例1-1 顧客満足度調査の推移）

※各ページのヘッダー・フッターなどに申請組織名や申請組織のロゴマークは表示しないでください。

※申請組織の組織案内・パンフレット等があれば、5部ご送付をお願いします。

■「申請応募書」の記述要領

申請書を提出する際に、16ページに添付されている「申請応募書（書式1）」を記述して下さい。この「申請応募書」は、正本一部とともに、右上部に写しと明記したコピーを2018年9月28日（金）までに提出する「申請書」5部全てに添付願います。

（書式1）2018年度三重県経営品質賞 組織プロフィール認証「申請応募書」

（書式2）「組織プロフィール認証 申請書フォーマット」

を次頁以降に示します。

提出用の書類に関しましては当資料の書式をコピーやスキャニングをして頂いても結構ですし、三重県経営品質協議会のホームページ（<http://www.miequality.net/>）にアップしてありますので、ダウンロードしてお使いください。

(書式1)

2018年度
三重県経営品質賞 組織プロフィール認証「申請応募書」

2018年 月 日

第1項 申請組織名

正式名称（英文名称も含む）、所在地等を記入してください。

組 織 名 :
組 織 名 : (英文)
所 在 地 : 〒
社 員 数 :
ホムページアドレス :

第2項 代表者

代表者の氏名、役職を記入してください。

氏 名 :
役 職 :

第3項 申込責任者

申込責任者の氏名、役職、所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを記入してください。

氏 名 :
役 職 :
所 在 地 : 〒
電話番号 :
FAX番号 :
E-mail :

(書式2)

「組織プロフィール認証 申請書フォーマット」

「2018年度版日本経営品質賞アセスメント基準書」組織プロフィールの<記述範囲>に基づき、A4版用紙にて10ページ以内で記述して下さい。

★フォントはMS明朝 11ポイントを使用し、46文字、45行程度を目安に記述して下さい。

1. 理想的な姿

① 経営者が社員とともに目指している組織の理想的な姿はどのようなものですか。

以下の点を考慮して示して下さい。

- ・目指している状態（社員、顧客・市場、社会に提供したい価値）
- ・実現度を確保する定量目標（指標、目標値）
- ・達成時期

②なぜそのような状態を目指そうと思ったのか、その背景を示して下さい。

2. 現状認識と環境変化

(1) 商品・サービス

①顧客・市場に提供している商品・サービスはどのようなものですか。

以下の点を考慮して下さい。

- ・商品サービスの内容、およびそれが提供する価値
- ・商品・サービスを企画し、顧客・市場に提供するための主な方法
- ・提供価値を組織の収益に転換する仕組み

② 商品・サービスに大きな影響を与える今後の変化予測と、それに伴って認識している課題はどのようなものですか。

(2) 顧客・市場

①ターゲットとしている顧客・市場はどのようなものですか。以下の点を考慮して示して下さい。

- ・顧客・市場の特徴（規模、成長性、構造、特徴的な要因など）
- ・顧客・市場のニーズ
- ・ターゲットを特徴やニーズの違いにより区分している場合は、区分ごとのニーズの違いと、提供価値の内容の違い

②顧客・市場の今後の変化予測と、それに伴って認識している課題はどのようなものですか。

(3) 競争関係

①競争相手としている組織はどのようなものですか。以下の点を考慮して示して下さい。

- ・主要な競合組織と、それぞれの強み・それを生み出すプロセスの特徴
- ・あなたの組織を含めた市場での位置づけ（シェア、順位など）

② 競争関係の今後の変化予測と、それに伴って認識している課題はどのようなものですか。

(4) 経営資源

① 顧客価値を高め、競争力の源泉となっている知的財産はどのようなものですか。以下の点を考慮して示してください。

- ・ 知的資産の内容
- ・ 知的資産を組織にどのように蓄積してきたか
- ・ その知的資産は、どのように顧客価値や競争力と結びついているか

② 主たる施設・設備・装置などはどのようなものですか。以下の点を考慮して示してください。

- ・ 施設・設備・装置などの内容
- ・ その施設・設備・装置などは、どのように顧客価値や競争力と結びついているか

③ 主たる財務活動はどのようなものですか。以下の点を考慮して示してください。

- ・ 戦略的な意図を持って行っている財務活動の内容
- ・ その財務活動は、どのように顧客価値や競争力と結びついているか

④ 主たるビジネスパートナーはどのようなものですか。以下の点を考慮して示してください。

- ・ ビジネスパートナーの種類や区分
- ・ 種類・区分ごとの主なビジネスパートナーと、それぞれの特徴
- ・ そのビジネスパートナーは、どのような顧客価値や競争力と結びついているか

⑤ 経営資源に大きな影響を与える今後の変化予測と、それに伴って認識している課題はどのようなものですか。

3. 変革のための戦略課題

① 「2. 現状認識と環境変化」を踏まえ、「1. 理想的な姿」の実現に向けて、どのように組織を変革していきますか。以下の点を考慮して示してください。

- ・ 組織を変革するために重点的に取り組む戦略課題
- ・ 戦略課題の達成目標
- ・ 戦略課題の達成時期

4. 組織情報

① 主要な事業所・拠点、部門、およびそれぞれごとの社員数・構成（正社員、パート、アルバイトなど）

② 事業ごとの主要な財務データ

申請組織が組織内部部門の場合、以下の項目に関する組織情報を示してください。

① 全社やグループ内での位置づけと関連組織との結びつき

② 全社やグループ内における売上比率、社員比率

「組織プロフィール認証 評価チェックシート」

	評価大項目	評価中項目
評価の視点	理想的な姿	理想的な姿は明解に明示されているか
		そのような状態を目指そうと思った背景を示しているか
	商品・サービス	商品・サービスの内容、およびそれが提供する価値は明確か
		提供価値の変化予想に伴う課題を、どのようなものと認識しているか
	顧客・市場	価値を提供する顧客・市場は明確か
		顧客・市場の変化予想に伴う課題を、どのようなものと認識しているか
	競争関係	主要な競合組織との比較で自社の強みを明確に示しているか
		競争関係の変化予想に伴う課題を、どのようなものと認識しているか
	経営資源	主要な経営資源はどのように顧客価値や競争力と結びついているか
		経営資源の変化予想に伴う課題を、どのようなものと認識しているか
変革のための略課題	戦略課題は、経営環境認識と明確に結びついているか	
	戦略課題に対して適切な達成目標と達成時期が示されているか	
表現方法	ストーリー性	そのように認識した経緯や背景が記述されているか
		そのように認識した理由が記述されているか
		理想的な姿、現状認識と環境変化、戦略課題との関係性が明確になっているか
	文章等の適切性	第三者に言いたいことが伝わる表現になっているか
		表や図などを、構造・関係・順序などがわかりやすくなる様、適切に使用しているか
		誤字/脱字はないか

〈連絡先〉

三重県経営品質協議会 事務局

〔(公財) 三重県産業支援センター内〕

〒 514-0004 三重県津市栄町 1 丁目891番地 (三重県合同ビル5階)

TEL 059-213-1100 FAX 059-226-4957

E-mail : hinsitu@miesc.or.jp

URL : <http://www.miequality.net/>

2018年度版 三重県経営品質賞 組織プロフィール認証 申請ガイドブック

2018年7月 第1版 発行 三重県経営品質協議会
